

令和8年度赤十字血液シンポジウム

【中四国ブロック】

細胞治療を取り巻く現状と今後の展開

日 時：令和8年11月28日(土) 13:00～17:00
会 場：中四国ブロック血液センター1階ガイダンスホール
(広島市中区千田町2丁目5番5号)
開催形式：現地 + Web配信



第1部

座長：薬師神 芳洋(愛媛県赤十字血液センター 所長)

講演 1 「T細胞免疫療法の基礎・臨床・創薬」
越智 俊元 先生(愛媛大学大学院 医学系研究科
血液・免疫・感染症内科学講座 講師)

講演 2 「支援機関として、臍帯血バンクとして」
石丸 文彦 先生(日本赤十字社血液事業本部技術部 調整監)

第2部

座長：芦田 隆司(日本赤十字社中四国ブロック血液センター 所長)

講演 3 「臍帯血移植は最良の移植法となり得るか
—世界をリードする日本の実績、強力なGVL効果、そして非再発死亡克服への挑戦—」
内田 直之 先生(虎の門病院 血液内科 部長)

講演 4 「免疫細胞療法の現状と課題」
豊嶋 崇徳 先生(北海道大学 大学院医学研究院 血液内科学 卓越教授)

■ **参加費は無料**です。現地、Webともに**事前申込が必要**です。

■ 中四国ブロック血液センターホームページもしくはこちら →
から事前登録をお願いいたします。

事前登録期間：令和8年10月1日(木)～11月23日(月)

※Web定員は500名(先着順)とさせていただきます。

- 本シンポジウムは以下の制度の単位となります。
- ・ 日本輸血・細胞治療学会等が指定する認定制度
 - ・ 日本臨床衛生検査技師会生涯教育研修制度

事前登録はこちら



主催：日本赤十字社中四国ブロック血液センター

共催：愛媛県赤十字血液センター、日本輸血・細胞治療学会中国四国支部

後援：日本臨床衛生検査技師会、日本輸血・細胞治療学会



【お問い合わせ先】

日本赤十字社中四国ブロック血液センター 学術情報課 TEL 082-241-1619